

「地域を愛し、自分で考え 自分で行動する子ども」を育てる コミュニティ・スクール 通信

令和4年度 第6号 11月25日

日の里学園コーディネーター 北岡 隆博



地域の美化に貢献 日の里学園「クリーン作戦」

11月22日（火）に、日の里学園の2学期の交流活動「クリーン作戦」が行われました。午前中は東小と西小の4年生がリーダーとなり、1～4年生で協力し合って、それぞれの学校の敷地内をきれいにしました。

午後からは中学校の9年生がリーダーとなり、小学校5～6年生と中学校7～9年生で協力して、日の里地区の7つの公園や東郷駅前大通りなどの清掃活動を行いました。

小中学生が協力して地域を美しくする活動をする中で、学園のつながりを感じ合うとともに、地域貢献のやりがいや清掃後のすがすがしさなどを感じることができたと思います。

地域清掃をしている子どもたちの姿を見られた地域の方々が、ねぎらいのことばをかけてくださいました。ありがとうございました。



7年生の福祉学習 地域の方々に提案

中学7年生は、「誰もが住みよい日の里に」するために、総合的な学習の時間で福祉について学んでいます。具体的には、宗像市や日の里の少子高齢化の現状や課題、高齢者を支える「社会の仕組み」、シニアクラブ・福祉会などの団体の活動、認知症について学習を深めました。そして、11月21日（月）に、これまでの学習を踏まえ、約30人のシニアの方々に学校に来ていただき、16のグループに分かれ、意見交換をしました。

中学生からは「交流の場を作る」「公園に犬のふんを放置しないよう看板を作る」「日々のゴミ出しを手伝う」などの提案が行われ、それらについてよさや問題点など意見をいただきました。提案が今後どう実を結ぶか、ご期待ください。



3年生、「発見！日の里の『たから』たんけん隊」

日の里地区で行われている、子どもが参加できるイベントについて調べる総合的な学習、「発見！日の里の『たから』たんけん隊」が東小と西小で行われました。

3年生の子どもたちはまず地域で行われているイベントについて情報を出し合いました。その後、地域学校協働活動推進員の木村政一さんと島本節子さんに学校に来ていただき、イベントの紹介やイベントを進めている人が誰かを教えてもらいました。そして、10月28日（金）に、調べることにした10のイベントを進めている方々に「いつ、どんな活動をしているか」「どんな思いでイベントを実施しているか」「困っていることや自分たちにできることは何か」などについて直接尋ねました。

この学習を通して、日の里には子どもが参加できるイベントがたくさんあること、そして大人たちが子どものためにいろいろなことを考えてくれていることを知ることができました。

